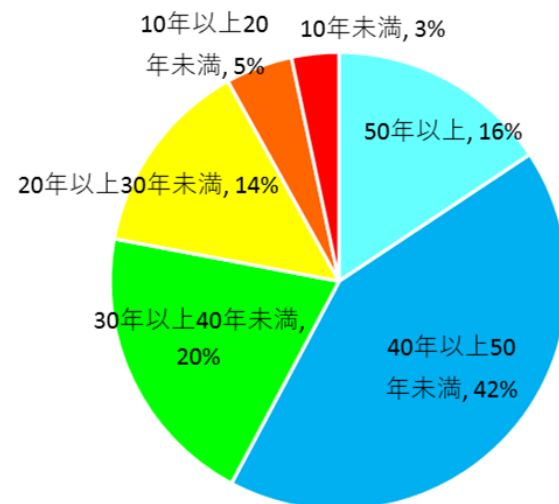


①江南市の公共施設の現状と課題

【公共施設の状況】

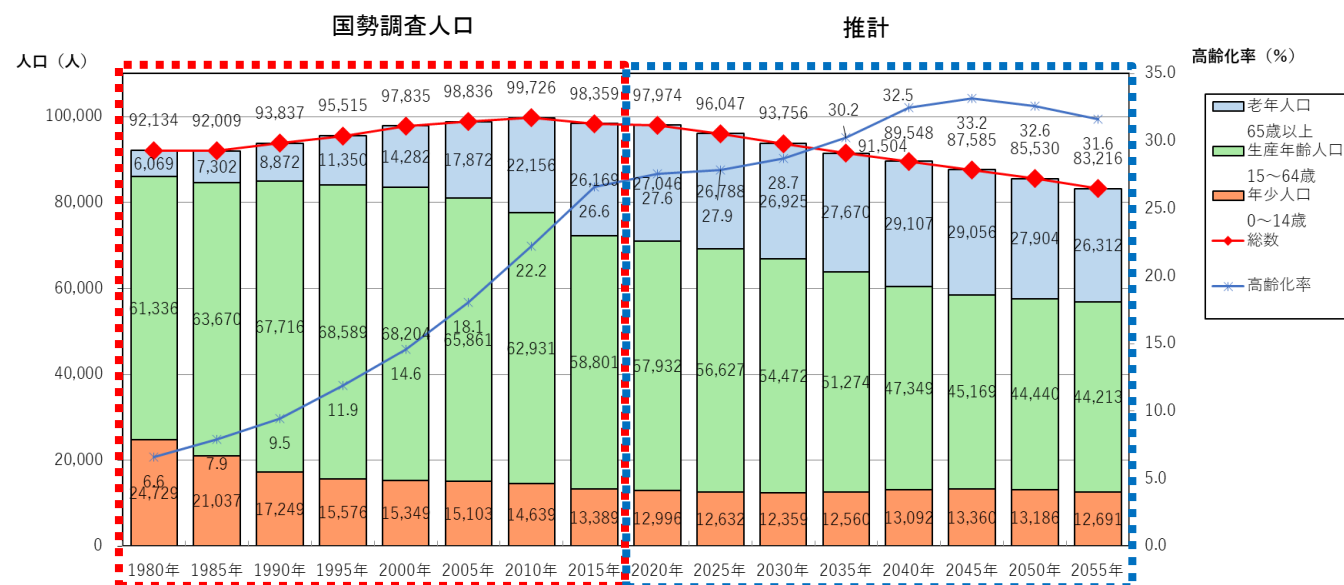
江南市の公共施設は、1960年代から70年代に集中的に整備されており、**建築後30年以上経過したものが8割近く**を占めています。これらは老朽化が進んでおり、大規模な改修や更新の時期が間近に迫っています。



【人口等の状況】

「江南市人口ビジョン」による推計結果では、平成67年度（2055年度）には83,216人となる見込みで、平成27年（2015年）国勢調査時点と比べて**人口は約15%の減少**となります。また、高齢化率は平成27年（2015年）の26.6%から、平成57年度（2045年度）には33.2%となる見込みで、**高齢化の進行**が予想されています。

このため、**市税収入の減少と扶助費などの社会保障費の増加が、財政を圧迫**することが予想されます。



本市は、市制施行以来、他自治体との合併を経験していないために機能が重複する公共施設が少ないことや、高齢化率が比較的高いため、歳出に占める扶助費の割合が高く、公共施設の整備にかけられる経費（投資的経費）を圧迫してきたことから、市民一人当たりの公共施設の延床面積は全国的にも小さい状況です。

投資的経費の圧迫は、既存の公共施設の計画的な更新にも支障をきたしてきたため、他自治体と比べて施設の**老朽化が著しい**状況となっています。

今後は、公共施設の老朽化の状況や人口減少等により、この状況がますます進むことが予測されます。

②江南市公共施設等総合管理計画（平成27年度策定）

平成27年度に策定した「江南市公共施設等総合管理計画」では、現状のままでは、将来、公共施設の更新費用を賄えないことが明らかとなりました。

保有する公共施設を全て同規模で更新しようとすると、総合管理計画の計画期間である平成28年度（2016年度）から平成67年度（2055年度）までに、年平均約30.9億円の費用がかかり、投資的経費に充当可能な財源は1年当たり約19.7億円（過去10年の実績平均）であるため、**年平均約11.2億円の財源が不足**することになります。

○更新費用の不足を解消するため、**公共施設の管理に関する3つの基本方針**を定めました。

- ・**施設総量の縮減**・・・行政サービスの水準を維持しながら、施設の統廃合を推進
- ・**施設の長寿命化**・・・施設が悪くなる前に改修・修繕を行う予防保全型維持管理に転換し、施設の目標耐用年数を80年に延長
- ・**運営の適正化**・・・運営手法の見直し、PPP/PFIなど民間活力の導入について検討

【将来更新費用の縮減目標】

更新費用の不足を解消するため、施設の更新・改修だけでなく、維持・運営コストの縮減等により賄うこととし、縮減目標として設定しています。

《縮減目標》平成67年度（2055年度）までに、公共施設の更新・改修、維持・運営コスト**447.0億円（11.2億円/年）**の縮減
総延床面積の約14%相当

③江南市公共施設再配置計画（平成29年度末策定完了予定）現在策定中

【公共施設再配置の基本方針】

全国的に急激な人口減少、少子高齢化が進むなか、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・子育て支援・教育文化・商業などの生活機能を確保するには、地域の特色をいかした魅力あるまちづくりをすることで、「選ばれ続ける」ことが必要です。

再配置計画では、公共施設再配置をただ単に財源不足を解消することだけを目的とせず、「選ばれ続ける」ための新たなまちづくりの手段として位置付け、**第6次江南市総合計画（案）の基本構想に示す市の将来像の実現**に向けて公共施設の適正な配置や運営などについて検討を進めています。

《参考》「江南市のめざす都市の将来像」の5つの基本目標

- ・地域の魅力を活かした機能的なまちづくり
- ・子どもが生き生き育つ環境づくり
- ・生活を支える雇用・就労環境づくり
- ・安心・安全の地域づくり
- ・常に改革を進める行政

再配置計画は、総合管理計画での公共施設の管理に関する基本方針と、総合計画での都市の将来像を踏まえ、「公共施設再配置の基本方針」と「公共施設再配置の具体的な方策（適正化方策）」を定め、検討を進めています。

公共施設再配置の基本方針

方針
1

「コンパクト・プラス・ネットワーク」の理念に基づくまちづくり

行政サービスの機能性を高めるまちづくり

- ・異なる機能を持つ施設を集約することで、施設の有効利用を図りながら、市民の利便性を向上
- ・さまざまな地域の住民が利用する施設は、より利用しやすい箇所へ
- ・地区の住民が利用する施設は、より人口が集積し地域の拠点となりうる箇所へ配置

方針
2

子育て支援・教育環境の充実

人口減少、少子化などの人口構造の変化、技術革新の進展に対応した施設づくり

- ・施設の利用状況のモニタリングや市民の意識調査などとおして将来的な施設ニーズ・行政サービスを適確に把握
- ・人口減少や少子化による人口構造の変化に伴い生じる新たなニーズに対応した規模・機能検討

方針
3

地域で支え合うコミュニティの育成

世代や性別などの垣根を越えた交流拠点づくり

- ・どんな市民にも利用しやすく、世代や性別、国籍を越えて交流することのできる拠点となるよう、設置目的や対象者などにとらわれない施設づくり

方針
4

さらなる安心・安全の確保

バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した施設づくり

- ・天井や照明器具など非構造部材の耐震性を確保することで安全性を確保
- ・災害・緊急時だけでなく、普段から高齢者や障害者、妊婦や子ども連れも安心して利用できるよう、バリアフリー・ユニバーサルデザインを考慮した施設づくり

方針
5

公共施設マネジメントの持続的な改善・改革

- ・施設の運営を担う所管課の枠組みにとらわれない全庁横断的な公共施設マネジメント推進体制の構築
- ・PFI等の新たな事業実施手法の導入、遊休資産の売却益の基金への積立て等、より良い市民サービスの提供に向けた持続的な業務改善・行財政改革

○公共施設再配置の具体的な方策（適正化方策）

（1）施設総量の縮減

- ①新設の抑制 ②統廃合の推進 ③複合化や機能移転（移転・転用） ④減築の推進

（2）施設の長寿命化

- ①施設の劣化や異常を早期に把握
②予防保全維持管理による施設の長寿命化
③全庁横断的な視点から公共建築物の保全に関する計画を策定

（3）運営の適正化

- ①PPP/PFIの活用 ②利用料金の適正化

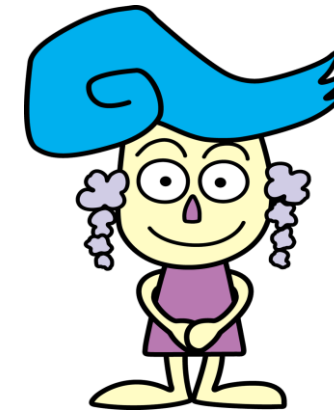
（4）資産の処分・有効活用

- ①遊休資産の売却・民間への貸付け ②売却益等の公共施設整備事業基金への積立て

江南市の公共施設再配置に関する取り組み

江南市の公共施設再配置に関するシンポジウム
～みんなで考えよう！江南市に合った公共施設のあり方～

平成29年10月28日（土）



この機会に、公共施設再配置について
ぜひ一緒に考えていきましょう